



▲キッズダンス

6月21日(土) 梓川アカデミア館芝生広場でキッズサマーフェスティバルが開催され、多くの来場者でにぎわいました。

晴天のなか、子どもたちを中心に金管バンド、吹奏楽、ダンスなど多くの演目が披露され、来場者は暑さも忘れて見入っていました。

商工会議所梓川青年部が出店した屋台には多くの人だかりができ、スタッフは汗だくでがんばっていました。

今年で23回目となるキッズフェスですが、30回40回と続き、地域を盛り上げてほしいと思います。



▲商工会青年部の屋台



▲吹奏楽部の演奏



▲シャボン玉のパフォーマンス



梓川の
世帯数・人口

世帯数	4,840戸
人口	11,948人
男	5,949人
女	5,999人

(令和7年7.1現在)



▲優勝した「チームかわうそ」お米をゲット

6月15日(日) ウォークラリー大会が梓水苑をスタート地点に開催されました。

小雨模様の天気にもかかわらず、子どもたちは思いのほか元気いっぱい。コース途中のチェックポイントではクイズやミニゲームが用意され、笑顔と歓声が広がりました。

ゴール後の順位発表では、賞品が贈られました。

子どもも大人もドキドキ。地域の絆がより深まる楽しい一日となりました。

梓川ウォークラリー2025



▲11組41人が参加



▲約5 kmのコースを歩いてゴール



▲コマ図を頼りにゴールを目指す



▲ポンプ車操法(37分団)

梓川地区からは第37分団(上立田、下立田、上角、下角、杏角影台、こまち)がポンプ車操法の部に出場し優勝しました。

鰐川潤(じょう)第37分団長は、「選手、サポート団員が一致団結して頑張った結果です。団員の家族のご理解とご協力に感謝したい」と話していました。

松本市消防団 ポンプ操法大会

6月15日(日)、島内の市消防団トレーニングセンターで松本市のポンプ操法大会が開催され、出場した団員たちは審査員の目が光る中、放水までの速さと正確性を競いました。

農業を身近に感じた なばな祭り

6月7日(土)、横沢公民館と近くの畑で「なばな祭り2025」が行われ、多くの家族連れでにぎわいました。

爽やかな青空の下、横沢農家組合生産振興部会が育てた菜花やラディッシュの収穫体験をしたり、チンドン屋やマジックショーを鑑賞しました。

なばな祭りは、公民館、子ども育成会、農家組合の皆さんを中心に組織している「横沢わくわくスペースシップ」など地域の団体が連携して企画しており、実行委員長の下山好子公民館長は、「大勢の人が収穫体験を楽しんでくれて良かった。地域の交流の場がこれからも続いてほしい」と願っていました。



▲お昼のカレーライス



▲手作り兜をかぶり記念撮影



▲手品を教えてもらう子どもたち



▲黄色い菜花を親子で摘み取り

ひろばウォーキング

5月2日(金)、梓川地区福祉ひろばのウォーキング事業で、上高地の自然と触れ合ってきました。

朝から小雨が降る中、雄大な穂高連峰の峰々は雲に隠れて眺望することはできませんでしたが、自然公園財団のガイドさんから、上高地の地形の成り立ち、動植物の生態系の説明を受けた後、河童橋周辺のウォーキング探索を行いました。参加者は、植物の成長過程など説明を聞きながら大自然の営みを肌で感じることができました。

福祉ひろばでは、スポーツ吹矢、ウォーキング、百歳体操ふれあい健康教室などさまざまな活動をしており、どなたでも参加できます。

皆さんもひろばの活動に参加して仲間づくりや健康づくりをしてみませんか。まずは福祉ひろばに連絡してみてください。

(梓川地区福祉ひろば

76-1070)



梓川小学校運動会

▶解説を聞きながら探索



5月24日(土)に梓川小学校の運動会が開催されました。特に会場を和ませたのは、

1・2年生のイルカの浮き輪を使ったリレーでした。2年生のスピードについていけず転んでしまう1年生もいましたが、すぐに立ち上がり、めげずにゴールを目指す姿に観客席から大きな声援が送られていました。

各学年が披露したダンスは、子どもたちの息の合った動きと表現力豊かなパフォーマンスで、小雨の降る肌寒さを忘れさせるほどの熱気に満ちていました。

「元気いっぱいあずさっ子全力協力しよう」をスローガンに子どもたちが全力で取り組んだ運動会、勝つ喜びや負ける悔しさ、そして仲間との絆を深める思い出に残る一日となりました。



▶いるかといっしょに!!
れっつこー!!(1・2年生)



▶これこそオンリーワン
「ドンブラダンス」(4年生)